

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所　こーず　児童発達支援事業所		
○保護者評価実施期間	令和7年　1月　9日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　令和7年　1月　27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)　　6名
○従業者評価実施期間	令和7年　1月　9日　　　　　　　　　　　～　　　　　　　　　　　令和7年　1月　27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)　　4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　2月　8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援	一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行い、個々のペースを尊重している。楽しみながら成長できる環境を整えている。	個々の支援プログラムの作成
2	保護者との連携が充実	保護者との情報共有を大切にし定期的な面談や連絡帳などでコミュニケーションをとっている。親子レクレーションを行事に取り入れ三者の交流を行い、信頼関係の構築を図っている。	定期的な育児相談 グループ勉強会
3	職員のスキルアップ	チーム内で情報共有や振り返りを行い支援方法の改善に努めている	専門的研修への参加 資格取得

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の個別化の課題	グループ活動が中心になり、個別対応が十分に行き届かない場合がある	個別支援の時間を確保し個々のニーズに合ったプログラムを充実させる
2	地域・他機関との連携不足	ケース会議等定期的に参加するも、保育園や学校によって情報共有が十分にできていない	他機関との連携を積極的にとっていく
3	職員の業務負担	複数の学校、下校時間のばらつきから送迎用員の人員不足	効率的な業務負担や人材確保に向けた採用活動を強化する